

研究課題名	くも膜下出血患者を対象とした脳血管攣縮原因物質特定のための観察研究
当センターの研究責任者	脳神経外科部長 相原 英夫、溝部 敬
研究目的	くも膜下出血で起こる脳血管攣縮の機序を明らかにするため、くも膜下出血患者脳脊髄液（髄液）及び血液代謝物の変化をオミクス的手法を用いて解析し、脳血管攣縮時の代謝経路・代謝物の特異的な変化を明らかにすることで脳血管攣縮の予測を行うことである。
利用する情報	<p>■対象</p> <p>発症 24 時間以内に根治術を施行された脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血患者</p> <p>■利用情報の内容</p> <p>(1) 患者基本情報：年齢、性別、くも膜下出血重症度、動脈瘤部位、既往症ほか</p> <p>(2) 血液検査（赤血球数、白血球数、ヘモグロビン）、生化学検査（総タンパク、アルブミン、BUN、Cr、Na、K、Cl、血糖値、血漿浸透圧、BNP、コルチゾール、ADP、ACTH、TSH、FT3、FT4）、尿検査（尿量、尿浸透圧、尿中 Na 量）</p> <p>(3) 脳血管攣縮予防に使用した薬剤（塩酸ファスジル、鉍質コルチコイド、糖質コルチコイド、ニカルジピン）</p> <p>(4) くも膜下出血発症から 1, 3, 5, 7, 10 日目の通常の治療の一環で行われる採血時の残余検体を用いて包括的メタボローム解析・トランスクリプトーム解析を行う。</p> <p>(5) くも膜下出血発症から 1, 3, 5, 7, 10 日目の髄液を脊髄ドレナージもしくは脳室・脳槽ドレナージから採取し、包括的メタボローム解析・トランスクリプトーム解析を行う。</p> <p>■利用情報の該当期間</p> <p>2019 年 4 月 1 日～2021 年 12 月 31 日</p>
利用情報の他機関への提供の有無	神戸大学医学部附属病院脳神経外科へ情報提供
個人情報の取り扱い	年齢、性別のみ表示し、氏名、住所等の個人を特定できる内容は削除
企業等からの資金提供の有無	無
お問い合わせ先	神戸大学医学部附属病院 脳神経外科 担当者：魚住洋一（研究責任者） 神戸市中央区楠町 7-5-2 078-382-5966（脳神経外科医局）
備考	